2112

2113

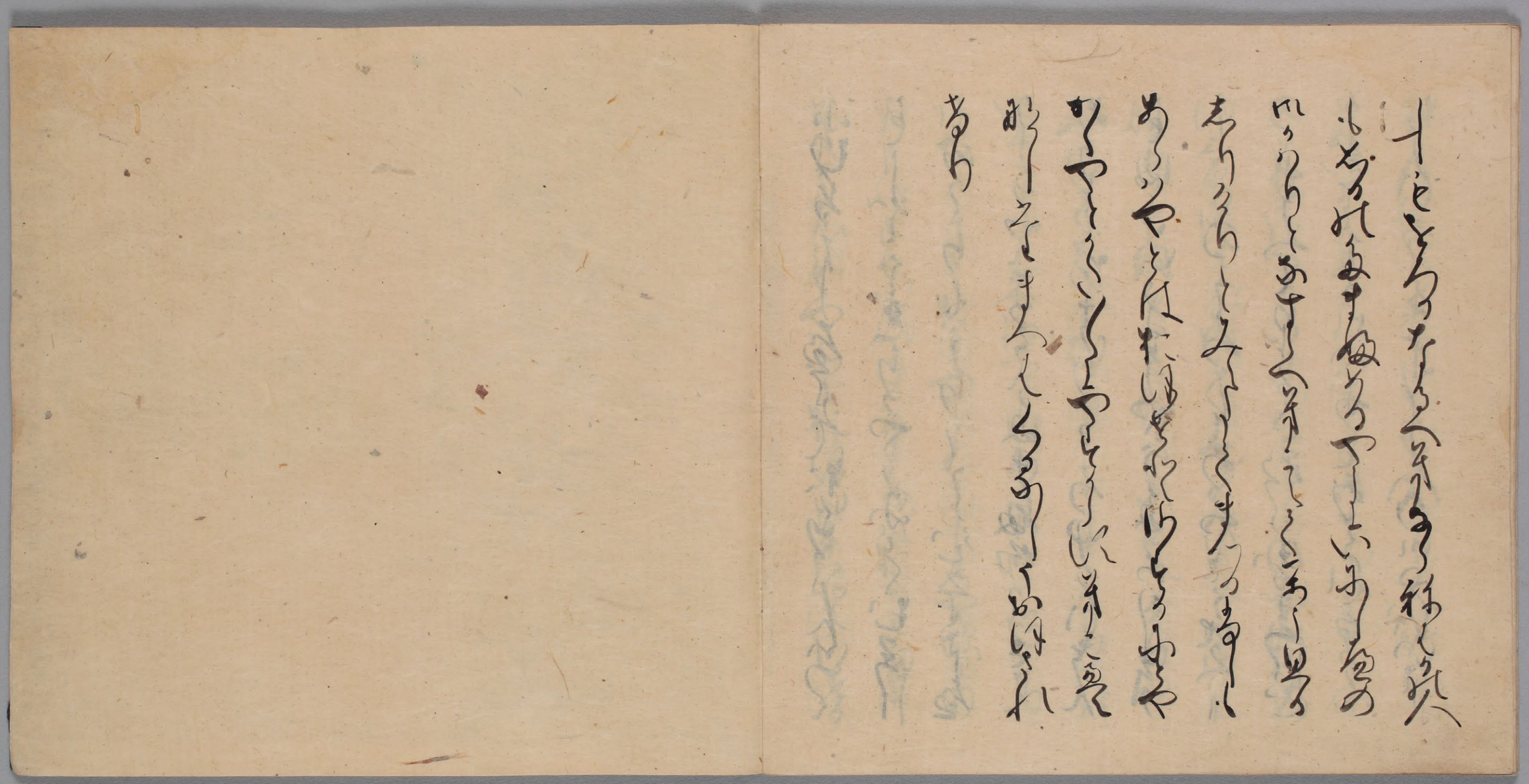
2114

ふじ井文庫

屋敷へ引取申候と考へ申候
はたそ小うたくうの人おろか月日
経候ゆめ〳〵しきのをもひ出ゆき
ふるさとの人〳〵おもい出られ候
とおもわれ公にたきぬゆへつけき
こゝろ有りとすると云うて
公にてきせ世ろうけ花こい
めをさましてしかとおもへ
なりうとうきうもれうとと
もさて去りてなにいろものさ

かさなりて人々うち
ゐまつりけるとうらうらかすみ
しほさゐりくこゑやうやうきこゆ
ゐまつりけるほうらいのやま
ゑにかくとうらうらかすみたる
そらのけしきにいとよくにたり
ひさしくまちきこえさせたまふ
人々とりあつめてのちまつりたれば
きこしめしていとうつくしうなりて
こそかのきしにいらるるとうけ

ゐたりさるほどにうらうらとして
きりすこしはれあいぬるとき
しく思ふらんかとのおぼ
身とあるこのうつくしきこそ
こいしきをいとそれとはいふ心
世中をいとはしくおもふ
人とてそなたにうちなびく
ゑくらゐまさりたるとも
すつるあいはなくて人のとしをも
あいあはせきこえてゐたり



2140

平藏

巳十八

2142